

カーボン・オフセットフォーラム オープンセミナー & 第 4 回課題別ワークショップ (2008 年 10 月 21 日) **アンケート集計結果**

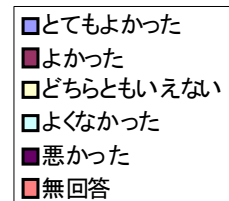
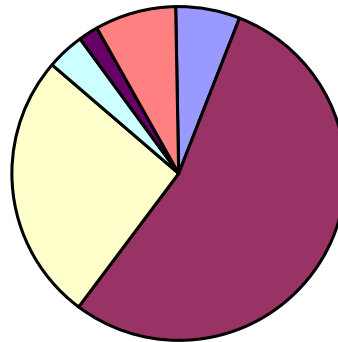
アンケート回収総枚数: **60 枚**

課題別ワークショップに関するアンケート結果

1. 本日の課題別ワークショップのご感想は？

表 集計結果

とてもよかった	3 人
よかった	27 人
どちらともいえない	13 人
よくなかった	2 人
悪かった	1 人
無回答	4 人



→ 具体的には…

とてもよかった	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラベルのあり方について。海外の事例。
よかった	<ul style="list-style-type: none"> ■ 様々な議論を聞く良い機会になった。 ■ 第三者認証機関による認証基準についての突っ込んだ議論があった。 ■ 認証基準及びラベルの考え方、進捗状況がよく分かった。 ■ 活動の算定方法の議論。 ■ 新しい制度「安心プロバイダー制度」や 4CJ 認証機関などの方向性が見えてきた。 ■ 各種基準等の位置付けにより理解できた。 ■ 認証スキーム。 ■ 同じような考え方の方々が多かったです。自社商品改善に役立てたい。 ■ 質疑は簡潔にして欲しい。冗長で早口でわかりにくい。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内容は良いが進行がバラバラだったのでどこをやっているのかわからなくなる事が多かった。 ■ 会話が聞き取りにくく途中から話がみえなくなったりした。 ■ 委員が官と知識人ばかりで事業者不在のため、内容に現実感が無い。 ■ 詰める点が多く更に検討必要。 ■ 課題が多すぎる気が…。
よくなかった	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委員からの質問に対して明確な回答ではなかった。よくわからない。 ■ 色指摘されても不明。分かりづらい。(資料)
悪かった	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボンフットプリントとの二重負担になる議論になっている。やはりフットプリント、オフセットは一体で進めて欲しい。

2. カーボンオフセットに対する第三者認証機関による認証基準(素案)、スキームについてご意見・ご要望をご記入ください。

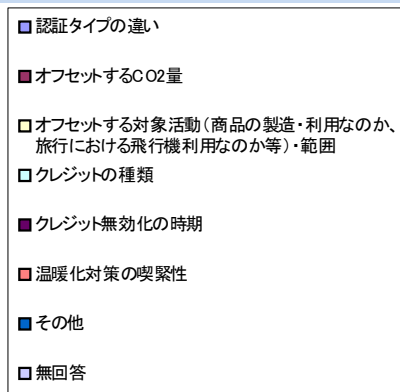
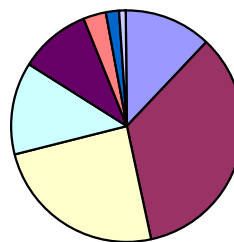
- イメージとしてCERのみを考えており、さらに事前償却を前題としているのでその場合どうなるのか？又CERは08~12まで使えると思うのですがその後の保証はしないのか？
- 国別登録簿口座とJVER登録口座の違いを消費者に分かるように区別する必要があるのでは。
- 可能な限り分かりやすいものが望ましい。
- コスト負担が小さいしくみとなるようにしてほしい。
- あんしんプロバイダー制度は必要ないのでは。プロバイダーが固定されるし、プロバイダー数の制限が必要になる。利益がでないシステムにしてほしい。
- 関係者、プロバイダーよりも、一般企業・消費者への説明が大変。
- カーボン・オフセットは自主的取組であることから、「認証」ではなく「登録」の方が良いと思う。また「認証」すると「許認可」につながる可能性がある。
- オフセットにインセンティブを与えるスキームになっていない印象。
- 「気候変動対策認証センター」→分かりづらい。「カーボン・オフセット認証センター」で良いのでは？「あんしんプロバイダー」の「あんしん」とは？意味不明。カーボン・オフセットとの整合性？
- プロバイダーの審査基準がまだ不明。
- カーボン・オフセットに対し第三者認証は必要であると思うが、本日のワークショップの内容ではまだまだつめなければならない部分が多すぎる。
- EUの例を見てもOJTで試行されながら確定されるのが良い。
- 選定基準、プロセスを透明化する。
- 第三者認証機関の力量がそもそも不明確。機関よりも個人へ認証を委託する方が良いのではないか。
- 安心プロバイダーのあり方が今ひとつわかりにくかった。バウンダリーの議論はわかりやすく明確であった。
- 公平・公正な認証には当該業種業態のビジネスプロセスに対する深い理解が必要なのではないかと感じている。
- 認証手順が細かくなると利用しにくい。例えば〈商品 A〉→顧客要望によりオフセットする/しないが決定する様な場合は非現実的なのでは？(佐川急便さんの通販宅配など)
- 単価の安い商品(食品、日用品)に費用負担が少ないようにしてほしい。できなくなる。
- 第三者認証機関の「あんしん」認証基準を明確なものにしてほしい。
- カーボンオフセットを単なる販売増の為だけに利用し、クレジットの無効化などをしない悪質者については、社名の公表やペナルティーを考えるべきである。
- 事例や考え方、QAを加えるとわかりやすい。このままではパブコメしてもわかりにくいのでは。
- 認証基準をわかりやすく説明するべきではないか。手続が煩雑。運用するにはコンサルタント的立場の存在が必要になってくるのでは？
- フットプリントと統一してわかりやすくしてほしい。

3. カーボン・オフセットラベルについて

3-1. どのような情報を掲載すべきと思いますか？(複数回答可)

表 集計結果

認証タイプの違い	14 人
オフセットするCO2量	38 人
オフセットする対象活動(商品の製造・利用なのか、旅行における飛行機利用なのか等)・範囲	27 人
クレジットの種類	15 人
クレジット無効化の時期	11 人
温暖化対策の喫緊性	4 人
その他	2 人
無回答	1 人



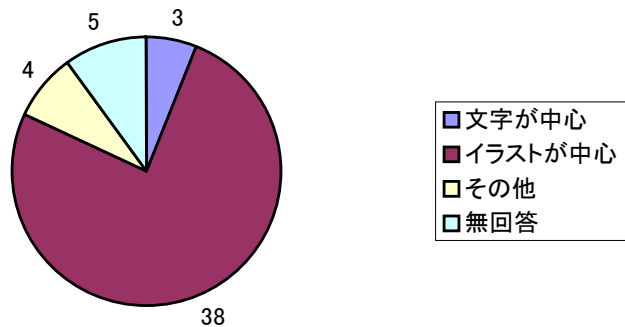
具体的には…

- (オフセットする CO2 量)オフセットする割合についても表示する必要があると思います。
- (オフセットする CO2 量)ラベルはフットプリントとの連動をはかるべきであり、それ以外の情報はラベル以外で表現する。オフセットの行為がわかれば良いはずである。
- (その他)削減努力を行っていることの証明。
- (その他)認証ラベルと情報提供は別物。認証ラベルは色別マークでよいのではないか。
- クレジット内容の精度。
- 認証マークとして貼られた証紙や商品に表示された事項等のものを証明するマークがあるべし。
- クレジットによって保証期限を一元化は難しいのでは？

3-2. どのようなデザインがいいと思いますか？

表 集計結果

文字が中心	3 人
イラストが中心	38 人
その他	4 人
無回答	5 人



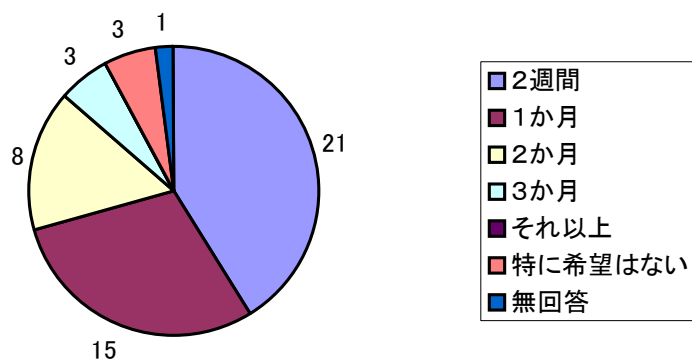
具体的には…

- 真似されないように複雑に
- 数字のみ
- シンプルなもの
- シンプルでオフカット割合表示で統一ラベルが良い
- 分かりやすければどちらでも
- イラストが中心でオフセット量は記載すべき
- 文字とイラストの併用
- 普及するためには明確化が必要
- オフセットの%がわかる様なものが良い
- オフセットしている」という枠組みのイラストの中に、CO2 量などデータをポイント表示、英の Carbon Trust 社のようなイメージ。
- ラベルは 1 種類でないと消費者には浸透しないと思われる。様々なラベルがあふれているし、商品にはつける余地があまりないのではないか。
- バーコード、QR コードなどで詳細な情報が得られるようにしたらよい(携帯)

3-3. 認証手続きの申請からラベルの取得までどのくらいの期間が望ましいと思われますか？

表 集計結果

2週間	21 人
1か月	15 人
2か月	8 人
3か月	3 人
それ以上	0 人
特に希望はない	3 人
無回答	1 人



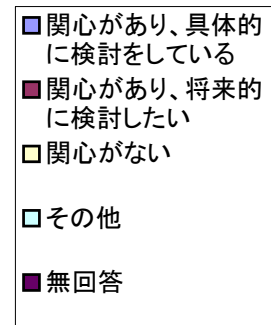
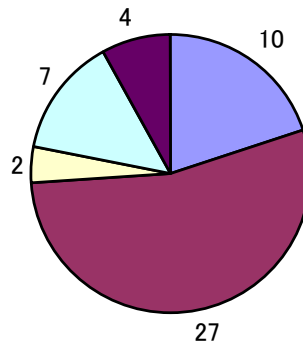
具体的には…

- →他の認証(G 認証等)よりも早く認証することにより普及化が広がる

3-4. ラベルの取得に関心がありますか？

表 集計結果

関心があり、具体的に検討をしている	10 人
関心があり、将来的に検討したい	27 人
関心がない	2 人
その他	7 人
無回答	4 人



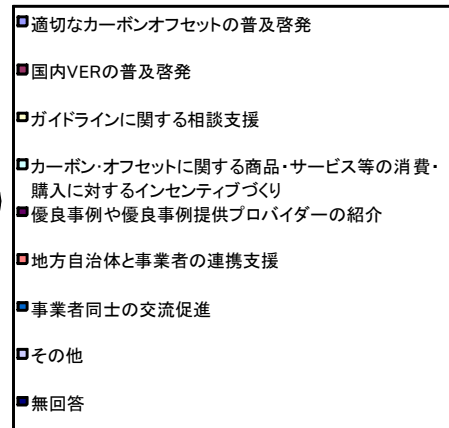
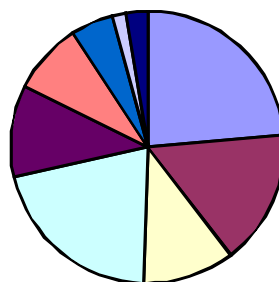
具体的には

- ラベル自体の意味がまだはっきり伝わってこない。
- モデル事業を利用して、早期に検証すべき。
- プロバイダーとして登録したい。
- 木質バイオマスの石油代替オフセット
- 新規事業のスキームに現在検討中。
- エネルギーサービス事業に組み合わせて提供。
- 認証のためのイニシャルコストは理解できるが、商品一つ一つランニングコスト発生すると、当社商品では使えない→商品により課金可否分けるべき。

4. カーボン・オフセットフォーラムに対する要望があればお聞かせください。(複数回答可)

表 集計結果

適切なカーボンオフセットの普及啓発	28 人
国内 VER の普及啓発	19 人
ガイドラインに関する相談支援	13 人
カーボン・オフセットに関する商品・サービス等の消費・購入に対するインセンティブづくり	25 人
優良事例や優良事例提供プロバイダーの紹介	13 人
地方自治体と事業者の連携支援	10 人
事業者同士の交流促進	6 人
その他	2 人
無回答	3 人



具体的には

- カーボンオフセット市場に参入するスキームの構築
- ccccJ が認証機構。そこに登録されている検証人が検証を行う仕組みを構築

5. カーボン・オフセットフォーラムの活動に関し、ご意見・ご感想等、ご自由にご記入ください。

- オフセットプロバイダー向けの勉強会をしてほしい。
- 大変参考になりました。
- ラベル使用料は、各事業者の環境保全活動を推進するためにはそぐわないと思う。事業として考えるのであれば、税金等に対応すべきである。
- 今後検証費用はいくらぐらいになるのか？各主体が“ボランタリー”で取り組んでいるカーボンオフセットで、第三者機関だけが何十万の検証費用をとるのはおかしいと思う。
- 一般人は排出量・二酸化炭素の重要性を感じつつ、まだ実行には到ってないと思います。何かインセンティブが必要だと思います。
- 「ラベル」を商品に付けないケースは注意が必要。例：ガソリンのオフセットラベルを車に貼る場合。いつまでも貼っているケースがありそう。
- 今日の会場は空調が環境配慮になっていない(冷えすぎ！！)机があるのはありがたい。